

桜場一樹レクチャー（その2）

2013年5月18日

1、著者紹介

1999年「夜空に、満天の星」（『AD2015 隔離都市 ロンリネス・ガーディアン』と改題して刊行）で第1回ファミ通えんため大賞に佳作入選。以降、ゲームなどのノベライズと並行してオリジナル小説を発表。2003年開始の〈GOSICK〉シリーズで多くの読者を獲得し、さらに04年に発表した『推定少女』『砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない』が高く評価される。05年に刊行した『少女には向かない職業』は、初の一般向け作品として注目を集めた。

『赤朽葉家の伝説』で、07年、第60回日本推理作家協会賞を、08年、『私の男』で第138回直木賞を受賞。著作は他に『ブルースカイ』『少女七竈と七人の可愛そうな大人』『青年のための読書クラブ』『荒野』『ファミリーポートレイト』『製鉄天使』『道徳という名の少年』『伏』など。エッセイ集に《桜庭一樹読書日記》シリーズなどがある。

2、著作一覧

ロンリネス・ガーディアン AD2015 隔離都市（1999年12月ファミ通文庫）

ルナティック・ドリーマー（2001年12月 EX ノベルズ）

Girl's Guard 君の歌は僕の歌（2002年1月ファミ通文庫）

B-EDGE AGE 獅子たちはアリスの庭で（2002年7月 富士見ミステリー文庫）

竹田くんの恋人（2002年9月 スニーカー文庫）

B-EDGE AGE 獅子たちはノアの方舟で（2002年11月 富士見ミステリー文庫）

赤×ピンク（2003年1月ファミ通文庫、2008年2月角川文庫）

推定少女（2004年9月ファミ通文庫、2008年10月角川文庫）

砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない A Lollypop or A Bullet（2004年11月富士見ミステリー文庫、2007年2月 富士見書房、2009年2月 角川文庫）

少女には向かない職業（2005年9月 東京創元社、2007年12月 創元推理文庫）

ブルースカイ（2005年10月 ハヤカワ文庫JA、2012年5月 文春文庫）

少女七竈と七人の可愛そうな大人（2006年6月 角川書店、2009年3月角川文庫）

赤朽葉家の伝説（2006年12月 東京創元社、2010年9月 創元推理文庫）

青年のための読書クラブ（2007年6月新潮社、2011年7月新潮文庫）

私の男（2007年10月文藝春秋、2010年4月文春文庫）

荒野（2008年5月文藝春秋）

ファミリーポートレイト（2008年11月 講談社、2011年11月講談社文庫）

製鉄天使（2009年10月東京創元社、2012年11月創元推理文庫）

道徳という名の少年 (2010 年 4 月 角川書店、2013 年 3 月 角川文庫)
伏 贖作・里見八犬伝 (2010 年 11 月 文藝春秋、2012 年 9 月 文春文庫)
ばらばら死体の夜 (2011 年 5 月 集英社)
傷痕 (2012 年 1 月 講談社)
無花果とムーン (2012 年 10 月 角川書店)

《GOSICK シリーズ》 (角川文庫)

GOSICK -ゴシック- (2009 年 09 月 25 日)
GOSICKII -ゴシック・その罪は名もなき- (2009 年 11 月 25 日)
GOSICKIII -ゴシック・青い薔薇の下で- (2010 年 01 月 23 日)
GOSICKs -ゴシックエス・春来たる死神 (2010 年 03 月 25 日)
GOSICKIV -ゴシック・愚者を代弁せよ- (2010 年 05 月 25 日)
GOSICKV -ゴシック・ベルゼブブの頭蓋- (2010 年 07 月 24 日)
GOSICKsII -ゴシックエス・夏から遠ざかる列車- (2010 年 09 月 25 日)
GOSICKVI -ゴシック・仮面舞踏会の夜- (2010 年 11 月 25 日)
GOSICKsIII -ゴシックエス・秋の花の思い出- (2011 年 01 月 25 日)
GOSICKVII -ゴシック・薔薇色の人生- (2011 年 03 月 25 日)
GOSICKsIV -ゴシックエス・冬のサクリファイス- (2011 年 05 月 25 日)
GOSICKVIII 上 -ゴシック・神々の黄昏- (2011 年 06 月 23 日)
GOSICKVIII 下 -ゴシック・神々の黄昏- (2011 年 07 月 23 日)

3、『砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない A Lollypop or A Bullet』

◎うさぎを殺したのは藻屑？それとも花名島？

◎答えられたらヤバイクイズ

ある男が死んだ。男には妻子がいた。葬式には男の同僚が参列していて妻と同僚はいい雰
囲気になって惹かれあうってやつ……ところがその夜妻は突然自分の子供を殺してしまう。
さてなぜでしょう？

◎海の藻屑＝腐野花

◎子供の無力感

わずか13歳の山田なぎさや海野藻屑には自分の力で生きる糧を稼ぐ手段がなく、家庭や親も選べない。自分の運命を切り開く力もない。そういう冷徹な現実がこれでもかというほど徹底してこの作品では描かれている。

◎ゼロジャンル

ライトノベルと一般文芸の架け橋となるような、一般小説とライトノベルの隙間を埋めるような作品のこと。

4、『少女には向かない職業』

◎砂糖菓子との共通点、相違点

- ・少女二人組のところや、藻屑がウソばかりついていたように、静香も相当のうそつきなところ。(ウソの中に、ほんの少しだけ「本当」がある)
- ・海野藻屑と山田なぎさは逃走しようとしたが、大西葵と宮乃下静香は闘争している。また、海野藻屑は殺されてしまったが、大西葵と宮乃下静香は殺されることなく生き残っている。

◎現代のサクリファイスの文化

この世で肩身を狭くして生きている主人公が、事件のために更なる窮地に追い込まれ、人々から後ろ指を指される屈辱を味わい、ときには理不尽な暴力に怯えつつ、救済を夢見るありさま。

5、少女とは

・近代とはつまり彼女たちの時代だった。少女という名のクリーチャーがカルチャーを席卷した。アート、ファッション、物語。消費のモンスターたち。彼女たちは消費者としての快楽を追求するだけでなく、自ら商品になることを欲するほどに壊れていった。

・時代がクリーチャーを選ぶのは、そのときもっとも弱い者たちなのかもしれない。死にもの狂いで文化をつくりだす、実社会ではいっそ怒りを感じるほどに無力な生き物。弱い者たち。増えていく者たち。

—— 『ブルースカイ』より

《参考文献》

桜庭一樹オフィシャルサイト Scheherzade - Home

<http://sakuraba.if.tv/home.php>

楽天ブックス | 著者インタビュー 桜庭一樹さん 『私の男』

http://books.rakuten.co.jp/RBOOKS/pickup/interview/sakuraba_k/

bestseller's interview 第27回 桜庭 一樹さん

<http://www.sinkan.jp/special/interview/bestsellers27.html>

桜庭一樹 ~物語る少女と野獣~ (2008年8月角川書店)

新城カズマ 『ライトノベル「超」入門』 (2006年4月ソフトバンク新書)